

愚かものの夢

愚かな女は夢を見る

灰色の空の下

木枯らしにはだかの枝がカタカタと音をたてるなか

満開の染井吉野の

何千という薄紅の花びらを

愚かな女は夢を見る

未来永劫 おこるはずのないことを

もう一度

愛した人に逢えるときを

そのひとが

あの花のような微笑みを

彼女に投げる瞬間を

小さな花びらが舞い落ちる 降りしきる

音もなく

女のからだは冷えていく

夢を見ながら凍っていく